

Rotary Club of Toyohashi Golden

(1) 現状と課題

ロワジールホテル豊橋 TEL.0532-48-3131 事務局 豊橋市藤沢町141

ロワジールホテル豊橋本館9階 926号室 TEL.0532-35-9973 FAX.0532-39-3743 http://www.tovohashi-golden-rc.gr.ip email golden@toyohashi-golden-rc.gr.jp

- クラブ方針 -

- RIメッセージ -フランチェスコ・アレッツォ会長

地区方針 鈴木康仁ガバナー

神谷馨会長

UNITE FOR GOOD

ともに学び、ともに地域社会に貢献しよう!

新たな時代へ 理想の未来への挑戦 環境変化に対応し、より魅力的なロータリークラブへ

第 19 回 (通算 1723 回) 例会報告		令和7年11月21日(金)		職場見学例会			
ビジター	豊橋RC:1名、豊橋	北RC:2名					
出席報告	総会員数60名(計算会	- 会員数49名)欠席	17名 出原	季65.	3 1 %	前々回修正出席率 10	0%
歌/会場			会場:東	三土木会館	柳生川	地下河川整備事業 11	:50~

会長の時間

神谷 馨会長



皆さまこんにちは。今日は職場 見学例会です。

治水対策について学ぶ例会となり ます。私がこの地域に住んでいた 時には度々水害被害を経験いたし ました。本日は治水対策について

鈴木 雅人職業奉仕委員長より様々な現状について学 びたいと思います。よろしくお願いいたします。なお、 安全には充分にご配慮いただきたいと思います。

職場見学例会

鈴木雅人職業奉仕委員長

趣旨説明

職場見学例会に多くの方にご参加 いただきましてありがとうござい ます。本日の例会では愛知県が行 っています、二級河川柳生川の地

下河川工事の建設現場を見学していただきます。ここを 選定させて頂きました理由としましては、本年度の地区 職業奉仕委員会が、会員が自らの企業活動に対して職業 奉仕の理念や四つのテストを落とし込む例会の実施を 推奨しておりますので、青山建設さんにもご協力を頂き まして、青山建設さんと自分自身の会社が現在関わって おります、豊橋市内で行っています建設現場を見学して いただく事を考えました。また本年度のクラブ方針の一 つとして危機への取組みがあげられています事より、愛 知県がこの地域のメインの一つである減災対策の建設 工事を取り上げさせて頂きました。建設工事は出来上が った物は地域の多くの方が利用する物となるのですが、 その作る過程については工事に携わる方以外にとって は、ほとんど情報が無いのが実情でして、そのことが私 たちの業界に取っても大きな課題となっています。今日 は短い時間ですが、少しでも建設業について知って頂く 機会となります事に感謝すると共に、1月にあります職 業奉仕例会、フォーラム職業奉仕にて、みなさんからの 意見を頂けることを楽しみにしております。どうかよろ しくお願いします。

工事説明

それでは、ここからは工事の内容について、愛知県が作 成しました資料で説明をさせて頂きます。

柳生川は流域面積約 23.9km2、延長 6.5 kmの二級河川 となりまして、管理は愛知県が行っています。

■柳生川の概要

柳生川は、流域面積約23.9km²、流路延長約6.5kmの二級 河川である。



柳生川流域図

これまでの水害の発生状況ですが、近年で一番大きな被 害は平成20年8月末の豪雨災害となりまして



		主要	洪水一覽					
発生年月日	異常気象名	降雨量		浸水	浸水家屋數			
		1時間 (mm)	24時間 (mm)	面積 (ha)	床上 (棟)	床下 (棟)	計 (棟)	
S34.9.26~27	台風15号 【伊勢湾台風】	20.5	86.1	不明				
S46.8.30~31	台風23号	39.0	236.0	32	24	591	615	
S49.7.7~8	台風28号	45.0	200.0	239	721	1,927	2.648	
S52.7.27~28	梅雨前線	89.0	96.0	7	5	128	133	
H20.8.28	秋雨前線 [H20年8月末春雨]	76.0	233.5	46	140	138	278	
H21.10.8	台風18号	9.5	93.5	1	0	2	2	

出典:「二級河川都平川水系河川整備計画、平成28年2月18日一部変更、登知県Jはリー部接粋 ※浸水面積、浸水家屋数は、水富設計による。 ※降雨手は、豊格両手数制所(気象庁)の雨量である。

上浸水 140 棟、床下浸水 138 棟の被害が発生していま す。内水氾濫という言葉がありますが、堤防の役割は人 が住んでいる地域を守るのが役割でして、役割から見た 場合河川や海側が外側、人が住む所が内側となります。 そのため、内水氾濫というのは、人が住む側に溜まった 水を処理、川や海に放出できない事を言います。

THE ROTARY CLUB OF TOYOHASHI-GOIDEN



本来、河川の幅が狭ければ河川の拡幅工事や一時的に水を溜める遊水地の設置を行うのですが、新幹線も含めると線路が3本もあり、国道259号もあり、また住宅街に遊水地を設置すると住宅の移転や補償の費用の問題もあり、どちらも莫大な費用と時間がかかります。そのため、費用対効果の観点や早期実現を考慮した結果、地下河川の整備を行う事となりました。



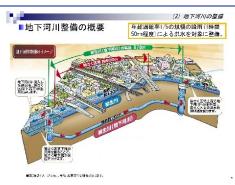
工事の施工場所と内容ですが、今日見学する工事は赤字の地下河川の整備工事となりますが、関連工事としては他にも、川底に溜まった土砂の撤去や下流側に流れる水量が増えますので、それに伴う堤防、橋梁の補強や嵩上げ、また同時に耐震補強工事等も行っています。



地下河川は川底から約 15mの位置に設置されていましてトンネルの大きさは 6.7mとなっています。

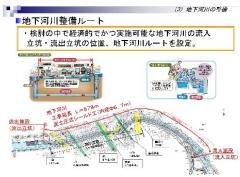


現状、河川の上流部の流量を毎秒 200m3、狭い箇所の流量を毎秒 130m3 の想定しており、不足分の毎秒 70m3 を地下河川で処理する想定となっています。



この流量は1時間あたり50m程度で設計されています。ちなみに令和5年6月豪雨では豊橋市の最大1時間あたり雨量は45.5mmでした。近年の雨としては時間当たりの雨量もですが、線状降水帯の発生による長時間の降雨による内水氾濫も大きな問題となり、整備されればまったく被害が発生しないとは言えないのが実情ですが、今よりは被害は小さくなるのは間違いないと言えます。また9月に三重県の四日市市で地下駐車場が水没した際の雨量は1時間あたり123.5mmと言われていまして、これと同様の雨が降った場合は対応出来ないと思います

こちらが地下河川の整備ルートとなります。



本当は流入口から流出口まで直線のルートの方が経済的に安くできるのですが、地下 15m の位置という事で地上への影響が心配されることから河川の真下を通るルートとなっています。また地下河川はポンプを使わずに水位差を利用したサイフォン方式の排水施設となります。ただ地下に常に水があると点検等が行えないため、そのための小型の排水ポンプは設置されるそうです。こちらが流入口のイメージ図となります。



河川から水を構造物の中に取り入れて、構造物は水の勢いを弱める構造となっていまして、その後地下河川に落ちて流れていきます。これが現在の工事の状況となります。先ほどの水を取り入れる構造物部分を構築するために、掘削をして立坑の接続部分を切断する工事を行っています。

THE ROTARY CLUB OF TOYOHASHI-GOIDEN

です。

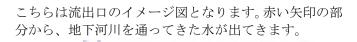
現在、地表から15m程度、川底から7m程度の位置まで 掘削が完了しています。実は、あと 3m 程度掘削する予 定なのですが、一部で水が噴き出しまして、これが拡大 すると危険な為、現在掘削は中断して設計の変更を検討 しているところです。

上流を見てもらうと下流部との川幅の違いがよくわか

ると思います。こちらは令和6年11月頃の工事の状況

地下河川部分が完了して、流出口の構造物を設置するた めに埋め戻した箇所の掘削をして、ちょうど壁面部分の コンクリート部分の工事をしているところになります。 今日はこの手前の構造物の中から作業状況を見てもら う予定をしています。こちらは地下水路のトンネル部分

を上から写した写真になります。



流出施設の概要

















★他クラブの例会変更

- ■12月5日(金) 蒲 郡RC 地区補助金事業例会
- ■12月9日(火) 宝 飯RC クリスマス家族会

■12月9日(火) 田原パRC 地区補助金事業